

## 週報

## こひつじ

第39巻 31号  
 大津キリスト教会  
 菊池郡大津町室 119  
 TEL 096-293-4470  
 FAX 096-293-4961  
 牧師 米村 英二

## ほんとうの自由とは

ですから、もし子があなたがたを自由にするならば、あなたがたはほんとうに自由なのです。(ヨハネ八の三六)

## その一 自由への欲求

「自由」とは近代になって使われ、まさに自由は人間の本質的欲求されるようになった用語だと思っただと言っただけでよい。

いたら、驚くことにイエスは、二では、人ほどのようにしてこの〇〇年も前に、それを使って自由を得るのか。イエスは言われた。

人はみな自由を求める。が、自由には、さまざまな自由がある。す(ヨハネ八の三二)

まず圧政からの自由がある。権また言われた。

力からの自由がある。また病から「もし子があなたがたを自由にすの自由がある。そのほか恐れや不安、貧困からの自由、さらに欲望からの自由、妬みや憎しみからの自由がある。

何と多くのものからの自由をわれわれは求めていることか。

以来、長い年月が過ぎた。にもかかわらず自由はまだ多くの人に得られていない。

新聞記者として中国の北京総局に勤務していた長男の耕一は二〇二三年の二月、新疆ウイグル地区へ取材のため出かけた。ウイグル人が不当に収容されていると言われる刑務所に向かおうとしたのだが、ウイグル人のタクシードライバーは、尾行されているのに気がつく、恐くなって「これ以上は行けない。降りてくれないか」と言っただけで、四度目の挑戦で、彼はたまたま運転手が漢民族のタクシードライバーをつかまえた。そこで、なんとか刑務所に近づくまで行けたのだが、不安そうに待つ運転手を見ると、建物の写真を撮るのがせいっぱいで、引き返すよりほかなかった。

その後、ある店に入ると、「あなたは外国人か」と店主に聞かれる。「あなたが店に来たことは当局に報告しなくてはいけない。そうしないと困ったことになるのだ。わかってほしい」

そう言うと、申し訳なきようにスマートフォンを取り出して彼の写真を撮ったそうだ。

「どこに寝ようと、それは人間の自由な権利だ」と怒鳴った。それを聞いて、柳田は「自由」というのが非常にいやなものだと子ども心に思ったという。

自由勝手であること、それが自由というものなのか、といぶかった柳田少年は「ほんとうの自由とは何か」を問うたのだ。

自由には、本物もあれば、偽物もある。

そこでイエスは言われた。

「もし子があなたがたを自由にするのなら、あなたがたはほんとうに自由なのです」と。

どうだろう。私たちはほんとうの自由を得ているだろうか。

(続)

悪くもなるのです。

### 今日の礼拝

エジプト脱出後、イスラエルの

人びとが四〇年の荒野生活を余儀なくされたことは、不幸なことでしたが、彼らの国民形成のために

重要なことでした。

そこで、モーセは言いました。

「荒野であなたを歩ませられた全行程を覚えていなければならない」

なぜでしょうか。

○説教は林田はるかさん。

○証は後藤加奈子さん。

### 先週の礼拝

私たちの人生も同じことが言えるのではないかと語りました。

○司会は西岡潤也さん、奏楽は吉岡隆夫さん。

### 先週の出席

○第一礼拝後、CSキャンプに参加した子どもたちが、元気に感謝の賛美してくれました。

○説教は申命記八の二、三から「荒野の生活の意義」について。

名、合計七八名(男二四、女五四)。

子ども九名。合わせて八七名。

小野松英菜、岡本雫月。

(保護者)石山宗孝・美和夫妻、石

山紗織、木下美樹、小野松愛、三浦浩・桂夫妻。

### CSキャンプ報告

岩崎宏志

七月二九日(土)は教会学校の

キャンプでした。この暑さでもあり、参加した子どもの多くが低学年

でしたので、急な変更でしたが、

遠くのキャンプ場に出かけるのを

やめ、教会の礼拝堂でやることに

しました。

朝一〇時集合、健康チェックに

始まり夕方六時三〇分まで。

ゲームや賛美、思い出作り工作、

そしてイエス様の救いの話。にぎ

やかにテーブルを囲んでのランチ

と夕食は特に盛り上がりました。

盛りだくさんのプログラムに子ども

たちは少々疲れ気味のようでした。

私たちは最後まで笑い声の絶えない

一日を過ごしました。

バザーや献金、それにお祈りを

ありがとうございました。

参加者は、

(子ども)石山心一、三浦穂乃果、

三浦大青、木下託磨、小野松蒼介、

小野松英菜、岡本雫月。

浦浩・桂夫妻。

(スタッフ)林田はるか、江藤洋子、尾頭誠郎、山村孝正・みゆき

夫妻、田崎実奈、米村幸子、岩崎宏志・まるみ夫妻。

以上、二三名(子供七名・大人

一六名)の参加でした。

〇七月二六日に篠夫妻の母教会

(東京都東久留米市)の森本牧師

夫妻の訪問を受けました。

〇八月二四日には、東京在住の

長男の耕一家族がやってきました。

一週間ほどいる予定です。耕一の

ふたりの娘は、上(那穂)が大学

生、下(志穂)が中学一年生です。

〇CFNJ聖書学院の鍛冶川院長の妻紀子さんは、七月二六日に

大腸癌の手術を成功裏に終え、今はリハビリに励んでおられます。

続けてお祈りください。

〇前に長く大津教会に来ていた

中原明さん(東京都八王子市在住)

が八月二日に久しぶりに訪ねてく